【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公表番号】特表2006-521764(P2006-521764A)
【公表日】平成18年9月21日(2006.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2006-037
【出願番号】特願2006-508649(P2006-508649)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　1/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　1/14

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月30日(2007.1.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前面（３０、１３０、２３０）、後面、上面、底面、および２つの側面を有する通信モジュール（２８、１２８、２２８）であって、接点が上記前面（３０、１３０、２３０）で露出しており、上記前面（３０、１３０、２３０）は、ワイヤおよび／またはプラグ（３４）と接点との接続を可能にするように、装着した状態で露出しており、相補形コネクタ（２０、２２、１２０、１２２）を上記上面、上記底面、または上記側面から受け入れるための少なくとも１つのコネクタ（５６、５８、２５６、２５８）が、上記上面、上記底面、および上記側面の少なくとも１つに設けられる通信モジュール（２８、１２８、２２８）。
【請求項２】
少なくとも１つの別のコネクタ（３２）が、上記前面（３０、１３０、２３０）および／または上記後面に設けられる、請求項１に記載の通信モジュール。
【請求項３】
少なくとも１つの印刷回路基板（７４、１７４）をさらに含む、請求項１に記載の通信モジュール。
【請求項４】
上記印刷回路基板（７４、１７４）が着脱自在である、請求項３に記載の通信モジュール。
【請求項５】
上記印刷回路基板（１７４）が、少なくとも１つのコネクタ（５６、５８）を受け入れるための少なくとも１つの凹みを含む、請求項３に記載の通信モジュール。
【請求項６】
少なくとも１つのスプリッタ回路をさらに含む、請求項１に記載の通信モジュール。